

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 8月9日(木)

午前10時30分

■会場 図書室おはなしのへや

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

江戸町人情物語、開幕

山本 一力著 / 『長兵衛天眼帳』



KADOKAWA

小説

日本橋の村田屋は創業120周年の老舗眼鏡屋。そのあるじの長兵衛は、すぐれた知恵と家宝の天眼鏡で謎を見通すと評判だった。ある日、目明しの新蔵が助けを求めてやって来るが…。広い人脈と持ち前の人柄を發揮して事件を解決に導く長兵衛の、胸のすくような謎解きと、江戸の人情話も満喫できるおすすめの本1冊です。

すばらしいどうくつたんけんの旅へ

堀内 誠一作・絵 / 『どうくつをたんけんする』



福音館書店

児童書

どうくつの中は真っ暗闇で、草や木もなく、石と水ばかりの世界?でも、そこは夢の御殿とよびたくなるような美しさ。途方もなく長い年月を経てできあがった鍾乳石はふしぎな形のものばかり。世界各地のどうくつをもぐった画家が、みなさんをご案内します。一緒にどうくつたんけんをしているような気持ちになる絵本です。

胸が熱くなる知られざるストーリー

岩崎 夏海監修 / 『ぼくは泣かない 甲子園だけが高校野球ではない』



廣済堂出版

一般書

日本全国で本当にあった、泣ける高校野球ストーリー。中学では不登校だったが、高校の野球部ではキャプテンとなる。福島で被災し、トラウマを抱えながら野球を続ける…。野球雑誌の記者が取材で集めた16の実話を紹介しています。ひたむきな努力が真っ直ぐに心に届く、知られざる感動と涙のストーリーです。

古くて新しいすてきな乾物こうや豆腐

きちんとキッチン著 / 『こうや豆腐&粉豆腐 幸せレシピ』



河出書房新社

教養娯楽

こうや豆腐は、少量でたんぱく質、カルシウムなど色々な栄養を摂ることができ、さらにコレステロールや内臓脂肪を下げる成分もあります。子どもから中年まで、どんな世代にとっても健康維持を助ける食材です。そんなこうや豆腐の、定番料理からアレンジまで、毎日でも手軽に作れるレシピを幅広く紹介しています。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

昭和21年、熊本市の桶屋、福島師匠宅のテーブルの上に、作者は思い出せないが「紅騎兵」という題の小説を置いてあった。それが初めて読んだ小説だった。小説を読むのは面白く、まだラジオもない時代だったので仕事が終わると貸本屋へ行っては本を借りて読んでいた。吉川英治著「親鸞」「宮本武蔵」「太閤記」「徳川家康」も読んだ。

今月の案内人



井上 英一さん
(小鹿区)

昭和29年に宮内に帰り、結婚。子ども出来て仕事も忙しく、読書どころではなかったが本

Read This Story!

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『親鸞』(吉川 英治著)

義経が牛若と名乗っていた頃と同じ源氏の血をうけて生まれた十八公麿(まつまる)(親鸞)は、9歳で叡山へ登るがそこは俗界以上の汚濁であった。

を読みたいといつも思っていた。月日は流れて仕事にも出なくなつた時、「親鸞」の文章がとてもきれいだったことを思い出した。もう一度読みたいと思つたが、本屋をいくら探しても見つからなかった。探していた本とは町の図書館でおよそ半世紀ぶりに出会うことができ、それから色々な小説を読んだ。

平成の大ベストセラー佐伯泰英の時代小説の登場人物がとて



も丁寧な言葉使いで、私も本を読んでいつの間にか「ありがとう」と感謝の言葉が出るようになりました。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか?

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 町生涯学習センター自主文化事業のお知らせ

「林家きく麿」落語会開催

●日時

8月24日（金）
開場 午後6時30分
開演 午後7時

●会場

町生涯学習センター・ホール

●入場料

無料

●主催

町教育委員会

落語協会真打の林家きく麿さんの落語会をお楽しみください。

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

■「新規採用者及び転入教職員研修会」を開催

6月15日（金）甲佐町町民センターで、甲佐町学校人権教育部会「新規採用者及び転入教職員研修会」が開催されました。

はじめに、町民センターの中林健次所長から「町民センターの取組について」、甲佐中学校人権教育主任の嘉古田剣吾教諭から「甲佐町における人権教育の現状と課題について」と題し、講話を行いました。

次に、「私と同和問題とのかかわり、人権教育を進めるにあたっての

表情が明るく笑顔が増えるようなワンポイントを教えてもらいました。参加者は10人。



▲講師にメイクをしてもらう受講者

町公民館主催講座 メイクレッスン

7月18日（水）町生涯学習センターで、「シニア世代の講座」で「メイクレッスン」をしました。

講師は、化粧療法士の竹内恵子さんで、メイクをすることで気持ちが上がり、

まず基本の眉の書き方やベースの塗り方を学び、そのあとは1人1人にあった化粧を講師にしてもらいました。受講者は日ごろ気になっているところや自分に合う色の見つけ方などを相談したり、鏡に映った自分を見たりしながら弾んだ気持ちになっていました。

皆さん10歳若く見え、楽しんで帰りました。

町公民館出前講座 お口の健康について

7月13日（金）津志田公民館で、「お口の健康について」の出前講座を開催しました。

佐藤歯科の佐藤昭彦院長を講師に迎え、「歯科検診で、健康寿命を延ばそう」をテーマに、画像を見なが

ら説明がありました。参加者は15人。お口の中の病気には、むし歯、歯周病、義歯（入れ



▲津志田公民館で行われた出前講座

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

悩みなど」について、グループ討議を行いました。討議では「人権学習をどのように進めていけばいいのか」の悩みや「部落差別を知らない、または知識だけで現実が見えにくい現代だからこそ、地域と協働して差別のない社会を目指して、共に頑張ってほしい」など、参加された教職員から多くの意見も出て、良い勉強の場になりました。アンケートの中で、「自分の生き方を見つめ、自分がどう向き合うか、教師自身の姿勢が課題だと思う」「人権教育は、人としてあたり前の教育、自分を成長させてくれるもの」などの感想が

ありました。

今回の研修会は、自分自身の人権感覚を磨き、甲佐町の人権教育に取り組んでいく良い機会になりました。



▲講話に聞き入る参加者

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)